

Chim↑Pom

2005年に東京で結成した6人組アーティスト集団。時代のリアルに反射神経で反応し、現代社会に全力で介入した強い社会的メッセージを持つ作品を次々と発表。映像作品を中心に、インスタレーション、パフォーマンスなど、メディアを自在に横断しながら表現している。東京をベースに活動しながら、世界中の展覧会に参加、海外でもさまざまなプロジェクトを展開。

個展

2018

「グランドオープン」ANOMALY、東京
「NADiff a/p/a/r/t 10周年記念展 日本のアートは」NADiff a/p/a/r/t、東京
「Why Open?」ホワイト・レインボー、ロンドン、イギリス

2017

「Non-Burnable」ダラス・コンテンポラリー、テキサス、アメリカ
「Sukurappu ando Birudoプロジェクト 道が拓ける」キタコレビル、東京
「The other side」無人島プロダクション、東京

2016

「また明日も観てくれるかな？」新宿歌舞伎町振興組合ビル、東京

2015

「SUPER RAT」Saatchi Gallery、ロンドン、イギリス
「耐え難きを耐え、忍び難きを忍ぶ」Garner Gallery、東京

2014

「ヤジルシソビエトル〜ChimとPomのパラドックス」無人島プロダクション、東京
「エレクトリカルパレードで満足したことは一度もない」hiromiyoshii roppongi、東京

2013

「広島!!!!」旧日本銀行広島支店、広島
「Chim↑Pom × 叢 - Qusamura 『広島!!!!展』準備展! @ホットスポットギャラリー」hiromiyoshii roppongi Window Gallery mybar、東京
「“広島!!!!展”準備展!」広島市内ホットスポットギャラリー
「PAVILION」岡本太郎記念館、東京

2012

「Chim↑Pom」パルコミュージアム、東京
「Beautiful World : SURVIVAL DANCE」PROJECT FULFILL ART SPACE、台北、台湾

2011

「LEVEL 7 feat. 『広島!!!!』」原爆の図丸木美術館、埼玉
「Chim↑Pom」MoMA PS1、ニューヨーク、アメリカ
「K-I-S-S-I-N-G」The Container、東京
「SURVIVAL DANCE」無人島プロダクション、東京
「REAL TIMES」無人島プロダクション、東京（スタンダードブックストア心斎橋、大阪へ巡回）

2010

「imagine」無人島プロダクション、東京

2009

「FujiYAMA, GEISHA, JAPAnEse!!」無人島プロダクション、東京
「にんげんていいな」山本現代、東京
「広島!!」NADiff a/p/a/r/t、東京
「捨てられたちんぽ」ギャラリー・ヴァギナ (a.k.a. 無人島プロダクション)、東京
「広島!」Vacant、東京

2008

「オーマイゴッド! ~気分はマイアミビーチ~」無人島プロダクション、東京
「友情か友喰いか友倒れか/BLACK OF DEATH curated by 無人島プロダクション」hiromiyoshii、東京
「日本のアートは10年おくられている」NADiff a/p/a/r/t、東京

2007

「サンキューセレブプロジェクト アイムボカン」無人島プロダクション、東京
「オーマイゴッド」無人島プロダクション、東京

2006

「スーパー☆ラット」無人島プロダクション、東京

主なグループ展

2018

「アテネビエンナーレ2018」TTTビルディング、アテネ、ギリシャ
「にんげんレストラン」企画：Chim↑Pom、旧歌舞伎町ブックセンター、東京
「そとのあそび」市原湖畔美術館、千葉
「Declaration」コンテンポラリーアートインスティテュート、バージニアコモンウェルス大学、バージニア、アメリカ

「LOVE Long: Robert Indiana and Asia」アジアソサエティー、香港
 「Soul Mining」 ヴィンセントプライス美術館、ロサンゼルス、アメリカ
 「ピオクラシー ~"途方もない今"の少し先へ」 はじまりの美術館、福島
 「カンウォン国際ビエンナーレ」 Gangneung Green City Experience Center、江陵市、韓国

2017

「MOMATコレクション」 東京国立近代美術館、東京
 「ジャパノラマ 1970年以降の新しい日本のアート」 ボンビドゥ・センター・メッス、メッス、フランス
 「第6回 アジアンアートビエンナーレ」 国立台湾美術館、台中、台湾
 「Invisible Cities」 クロウコレクション、テキサス、アメリカ
 「Soul Mining: The influence of Asian culture in Latin America」 アリゾナ州立大学美術館、アリゾナ、アメリカ
 「歴史を体で書く」 国立現代美術館、果川市、韓国
 「第14回 リヨンビエンナーレ Floating worlds」 ラ・スクリーエル、リヨン現代美術館、リヨン、フランス
 「SHARE/CHEAT/UNITE」 The Physics Room、クライストチャーチ、ニュージーランド
 「黄金町バザール2017 他者と出会うための複数の方法」 高架下スタジオSite-C工房、神奈川
 「横浜トリエンナーレ2017 島と星座とガラパゴス」 横浜赤レンガ倉庫1号館、神奈川
 「Reborn-Art Festival」 石巻市、宮城
 「コレクション展2 死なない命」 金沢21世紀美術館、石川
 「高橋コレクション・マインドフルネス2017」 山形美術館、山形

2016

「南京国際美術展」 百家湖美術館、南京、中国
 「高橋コレクション展 マインドフルネス！2016」 高知県立美術館、高知
 「Perpetual Uncertainty (Don't Follow the Wind)」 Bildmuseet、ウメオ、スウェーデン
 「北京メディアアートビエンナーレ (Don't Follow the Wind)」 中華世紀壇芸術館、北京、中国
 「釜山ビエンナーレ2016」 釜山美術館、釜山、韓国
 「EDITIONS++」 無人島プロダクション、東京
 「THE HUBRIS PROJECT」 ACC Galerie Weimar、ワイマール、ドイツ
 「Works 2016」 S-HOUSE Museum、岡山
 「シドニービエンナーレ2016 (Don't Follow the Wind)」 キャリッジワークス、シドニー、オーストラリア

2015

「Risk」 Turner Contemporary、マーゲイト、イギリス
 「Don't Follow the Wind - Non-Visitor Center展」 ワタリウム美術館、東京
 「メッセージズー高橋コレクション」 十和田市現代美術館、青森
 「DAS HYBRIS PROJEKT」 HALLE14、ライプチヒ、ドイツ
 「by the mountain path」 White Rainbow gallery、ロンドン、イギリス
 「高橋コレクション展 ミラー・ニューロン」 東京オペラシティ アートギャラリー、東京
 「Translation Theme Park」 Uppsala konstmuseum、ウプサラ、スウェーデン
 「Don't Follow The Wind」 東京電力福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域内、福島
 「Hong Kong Arts Centre 3rd Annual Collectors' Contemporary Collaboration」 香港芸術中心、香港
 「Prudential Eye Awards」 ArtScience Museum、シンガポール
 「The Radiants」 BORTOLAMI X GREEN TEA GALLERY、ニューヨーク、アメリカ
 「TURN/陸から海へ（ひとがははじめからもっている力）」 鞆の津ミュージアム、広島

2014

「We can make another future: Japanese art after 1989」 Gallery of Modern Art、ブリスベン、オーストラリア
 「Zero Tolerance」 MoMA PS1、ニューヨーク、アメリカ (YoungArts Gallery、マイアミ、アメリカに巡回)
 「Asian Art Biennale Bangladesh 2014」 Bangladesh Shilpakala Academy、バングラデシュ
 「EAST ASIAN VIDEO FRAMES: TOKYO」 Pori Art Museum、ポリ、フィンランド
 「Translation Theme Park」 Gallery Ping-Pong, Gallery 21, マルメ、スウェーデン
 「無人島」 無人島プロダクション、東京
 「Duality of Existence - Post Fukushima: A group exhibition of Contemporary Japanese Art」 Friedman Benda、ニューヨーク、アメリカ
 「MOTコレクション クロニクル1995-」 東京都現代美術館、東京
 「地震のあとでー東北を思う I I I」 東京国立近代美術館、東京
 「マインドフルネス！高橋コレクション展 決定版2014」 名古屋美術館、愛知
 「Tomorrow Comes Today」 Digiark、国立台湾美術館、台北、台湾

2013

「global aCtIVISm」 ZKM | Zentrum fur Kunst und Medientechnologie Karlsruhe、カールスルーエ、ドイツ
 「高橋コレクションーマインドフルネス！」 札幌芸術の森美術館、札幌
 「シブカル祭。2013~フレフレ！全力女子！~」 渋谷PARCO、東京
 「Atomic Surplus」 CCA Muñoz Waxman Galleries、ニューメキシコ、アメリカ
 「adidas Originals PRESENTS BETTER NEVER THAN LATE」 小太刀製作所跡地、東京
 「Now Japan; Exhibition with 37 contemporary Japanese artists」 Kunsthal KAdE、アメルスフォールト、オランダ
 「inToAsia: Time-based Art Festival 2013 - MicroCities」 Stephan Stoyanov Gallery、ニューヨーク、アメリカ
 「アートがあればIIー9人のコレクターによる個人コレクションの場合」 東京オペラシティアートギャラリー、東京
 「高橋コレクションーマインドフルネス！」 霧島アートの森、鹿児島
 「MOTコレクション ぼくからきみへーちかくとおいたびー」 東京都現代美術館、東京
 「LOVE展：アートにみる愛のかたちーシャガールから草間彌生、初音ミクまで」 森美術館、東京

2012

- 「3.11とアーティスト：進行形の記録」水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城
 「第9回上海ビエンナーレ：REACTIVATION」上海当代芸術博物館、上海、中国
 「Project Daejeon 201: Energy」テジョン市立美術館、テジョン、韓国
 「ソニエリュミエール、そして叡智」金沢21世紀美術館、石川
 「Get Up, Stand Up」シアトル美術館、シアトル、アメリカ
 「歴史の天使－アイ・ラブ・アート 12 写真展」ワタリウム美術館、東京
 「ひっくりかえる－Turning Around－」（キュレーション：Chim↑Pom）ワタリウム美術館、東京
 「Double Vision: Contemporary Art from Japan」モスクワ市近代美術館、モスクワ、ロシア（ハイファ美術館、ハイファ、イスラエルに巡回）
 「TPAM in Yokohama 2012」BankART Mini、神奈川
- 2011
 「Life, no Peace, only Adventure」釜山市立美術館、釜山、韓国
 「Villa Tokyo」京橋、東京
 「エルピスの空」TOKYO DESIGNERS WEEK 2011（TDW-ART）、東京
 「シブカル祭。」渋谷PARCO、東京
 「CITY-NET ASIA 2011: Asian Contemporary Art Project」ソウル市立美術館、ソウル、韓国
 「Mildura Palimpsest #8 - Collaborators and Saboteurs」Arts Mildura、ミルデュラ、オーストラリア
 「Invisbleness is Visibleness:International Contemporary Art Collection of a Salaryman-Daisuke Miyatsu」台北當代藝術館、台北、台湾
 「Never give up!」PASS THE BATON GALLERY、東京
- 2010
 「第29回サンパウロビエンナーレ：There is always a cup of sea to sail in」シッシロ・マタラツォ・パビリオン、サンパウロ、ブラジル
 「Asia Art Award」ソマ美術館、ソウル、韓国
 「六本木クロッシング2010：芸術は可能か？」森美術館、東京
 「リフレクション／映像が見せる“もうひとつの世界”」水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城
 「移動～無人島in高円寺での最初で最後のグループ展～」無人島プロダクション、東京
- 2009
 「ミイラっていいな」山本現代、東京
 「Spooky Action at a Distance: A Big In Japan exhibition of new videos from Japanese artists」Black & Blue Gallery、シドニー、オーストラリア
 「A Blow to the Everyday」Osage Kwun Tong、香港
 「Urban Stories: The X Baltic Triennial of International Art」Contemporary Art Centre (CAC)、ヴィリニウス、リトアニア
 「Winter Garden: The Exploration of the Micropop Imagination in Contemporary Japanese Art」ケルン日本文化会館、ケルン、ドイツ（16ヶ国21ヶ所へ巡回）
 「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」原美術館、東京
- 2008
 「DEATH BY BASEL」Fredric Snitzer Gallery、マイアミ、アメリカ
 「東京ナンセンス」SCION Installation L.A.、ロサンゼルス、アメリカ
 「KITA!!: Japanese Artists Meet Indonesia」ジョグジャ・ナショナル・ミュージアム、ジョグジャカルタ、インドネシア
 「ライフがフォームになるとき－未来への対話／ブラジル、日本」サンパウロ近代美術館、サンパウロ、ブラジル
 「ニュートーキョーコンテンポラリーズ」（marunouchi）HOUSE、東京
- 2007
 「感情の強盗 emotion burglar」BankART Studio NYK、神奈川
 「DAIWA RADIATOR FACTORY VIEWING ROOM vol.4」大和ラヂエーター製作所ビューイング・ルーム、広島
 「Re-Act 新・公募展2007」広島市現代美術館、広島

受賞歴

- 2015 「Prudential Eye Awards」 Best Emerging Artist Using Digital/Video、
 「Prudential Eye Awards」 Best Emerging Artist of the Year（大賞）
 2007 「Re-Act 新・公募展2007」広島市現代美術館賞（大賞）

パブリックコレクション

国際交流基金
 森美術館
 金沢21世紀美術館
 東京都現代美術館
 東京国立近代美術館
 高橋コレクション
 アジアソサエティ美術館（アメリカ）
 Queensland Art Gallery | Gallery of Modern Art（オーストラリア）

Art Gallery of Ontario (カナダ)
Mill6 Foundation (香港)
Hammer Museum (アメリカ)

書籍

- 2017 「都市は人なり Sukurappu ando Birudoプロジェクト全記録」 (Chim↑Pom 著、発行：LIXIL出版)
- 2015 「Don't Follow the Wind」 (榎木野衣、Chim↑Pom、Don't Follow the Wind実行委員会編、発行：河出書房新社)
- 2014 「エリイはいつも気持ち悪い」 (Chim↑Pom 著、発行：朝日出版社)
- 2012 「idea ink 03 芸術実行犯」 (Chim↑Pom 著、発行：朝日出版社)
- 2009 「なぜ広島のをピカッとさせてはいけないのか」 (Chim↑Pom+阿部謙一 編、発行：無人島プロダクション、発売：河出書房新社)

作品集

- 2012 「SUPER RAT」 (発行：パルコ出版社)
- 2010 「Chim↑Pom」 (発行：河出書房新社)

DVD

- 2009 「Joy to Love」
- 2007 「The Making of Thank You Celeb Project – I'm BOKAN」
- 2006 「P.T.A. (Pink Touch Action)」